

2023年2月27日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～株式会社ケンシンのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社ケンシン（代表取締役 佐藤 大介）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2023年1月19日（木）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

6. 株式会社ケンシンの概要

代 表 者	佐藤 大介
本社所在地	愛知県名古屋市守山区新守町 158 番地
業 種	内装工事業
創 業 年 月	1997 年 4 月

<記念盾贈呈式の様子>



株式会社ケンシン
代表取締役 佐藤 大介 氏

株式会社名古屋銀行
守山支店長 所 達弥

※写真撮影時のみマスクを外しております。

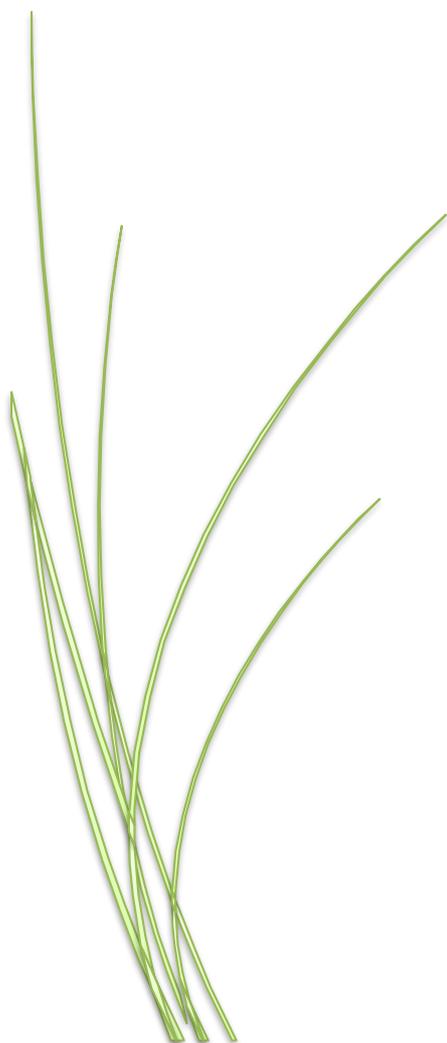
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以 上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社ケンシン ～



2023年1月19日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社ケンシンに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社ケンシンの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社ケンシン
所在地	愛知県名古屋市守山区新守町 158 番地
従業員	14 名 ※2022 年 12 月末時点
売上高	1,411 百万円
事業内容	内装工事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

目次

1. 企業情報	3
①会社概要	
②沿革	
③組織図	
④会社方針	
2. 事業内容	6
①業務内容	
②事業におけるこだわり	
3. その他の活動	9
①人材育成	
②LPG フォークリフト	
③健康宣言	
④SDG s 宣言	
4. インパクトの特定	12
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	17
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	18
7. モニタリング方法	18
8. 総括	18

1. 企業概要



①会社概要

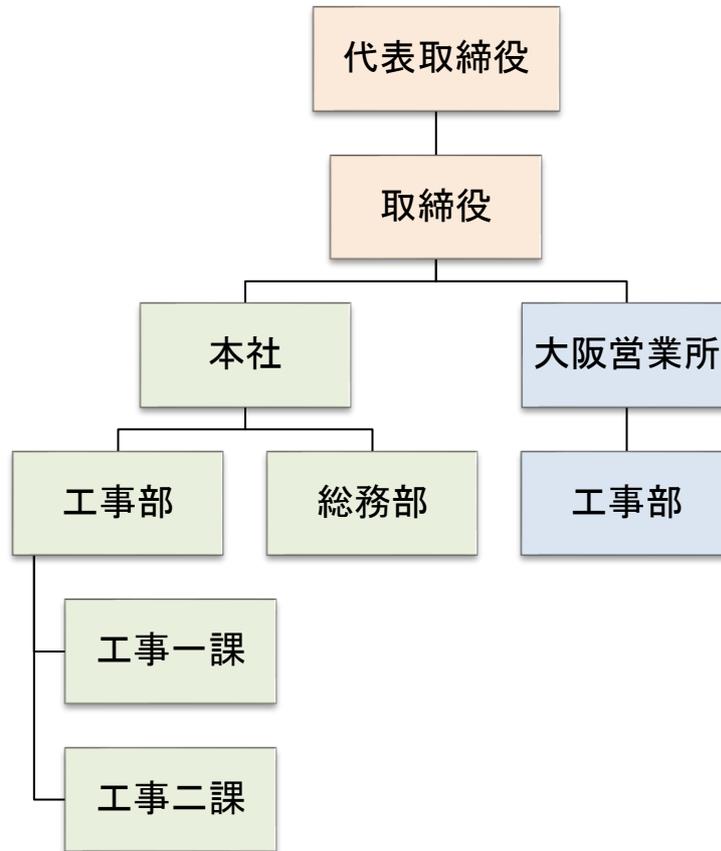
会社名	株式会社ケンシン
設立年月日	2001年5月9日
代表取締役	佐藤 大介
本店所在地	愛知県名古屋市守山区新守町 158 番地
従業員数	14名 ※2022年12月末時点
決算日	3月31日
大阪営業所	大阪府高槻市川添2丁目33番地1号 OKビル3F
建設業許可証	国土交通大臣許可（般1）第27616号



②沿革

1997年4月	個人事業主 佐藤内装として創業
1999年4月	有限会社ケンシン設立 名古屋市守山区に事務所を開設
2001年5月	有限会社から株式会社に組織変更
2013年10月	建設業許可取得 愛知県知事許可（般 25）第 102747 号
2016年2月	グリーンサイト登録
2018年5月	建設キャリアアップシステム登録
2018年7月	現在地に本社社屋新築、事務所を移転
2018年10月	建設業許可更新 愛知県知事許可（般 30）第 102747 号
2019年10月	大阪高槻市に大阪営業所開設
2019年11月	建設許可取得 国土交通大臣許可（般 1）第 27616 号
2019年12月	外国人技能実習生 受入
2021年3月	SDGs 宣言

③組織図



代表取締役をトップとして部門別の組織を構築している。本社と大阪営業所の2拠点展開しており、東海エリアを中心に滋賀県・京都府・大阪府などの関西エリアまで商圏を拡大している。

④会社方針

「信用」は「実績」の元に成り立つ。

「実績」の要因は他にもあれど

「価格」と「品質」抜きでは成り立たないものだと考える。

当社の主な事業は、暮らしを支える様々な建物の内装をすることであるが、そこで終わることなく物作りを通して、熱い感動、未来への希望、人々の笑顔までも引き出すことができる重要な事業と位置付けている。グローバル化、多様化が進み今後一層社会の変革が進んだとしても、5年後、10年後、さらにその先を見据えて『100年存続する会社』を目標とし、次世代の人々も安心して豊かに暮らせる環境の実現によって社会に貢献していくために、上記会社方針を打ち出している。

2. 事業内容



当社は東海三県を中心に滋賀県、京都府、大阪府など広範囲にわたって、主に各種内装工事、軽量鉄骨天井下地、軽量鉄骨間仕切下地、クロス張りを請け負っている。

協力会社を含めると100名以上の体制が構築されているため大規模工事への対応も可能で、大小含めると年間300件以上の工事実績を有する。「価格」「品質」「実績」の面で他社差別化ができるよう日々尽力している。

① 業務内容

(1) 軽天工事



軽天工事とは、壁や天井の下地となる骨組みをつくる工事である。

内装工事のなかでも最初に始まる作業であり、この工事の出来栄によって、その後続く内装仕上げ工事の質を左右するだけでなく、建物そのものの居住性にも大きく関わることとなる。

当社は施工にあたり軽鉄（LGS）を採用しており、短期間で耐燃性に優れた軽天を実現している。

(2) ボード貼り工事



ボード貼り工事とは軽天工事で組み立てた骨組み（下地）に、断熱材などを入れてから石膏製のボード（壁）を張る工事である。

さらに必要に応じて、耐水ボードや2枚張りなどの工夫を凝らし、クロスを張るための基礎部分を仕上げ、最終工程の品質を高めている。

(3) 内装仕上げ工事



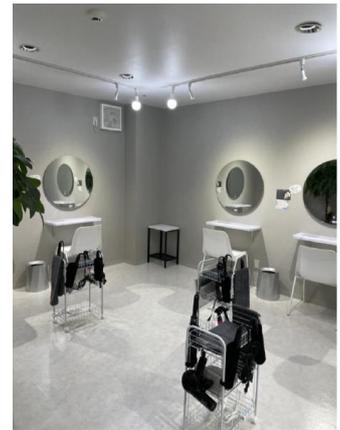
最終工程として、天井・壁・床などの内装を仕上げ、安全で快適な空間を作り出している。

最初はコンクリートに囲まれているだけの空間に天井や壁をつくり、床を張って、人びとが安心して生活できる部屋や、集中して作業ができる部屋等用途に合わせて仕上げていく。

下地組みから仕上げ作業までを一貫して手がけることで、よりイメージ通りの室内空間を実現している。

② 事業におけるこだわり

(1) 品質



当社において、内装仕上げ工事や軽天工事は、ただ上質な道具、高価な材料を使用すればいいというものではなく、材質に対する豊富な知識とともに、手先の繊細な技術を有する必要があるとの考えを持っている。

当社においては、業歴20年以上の代表を筆頭に熟練の技術者がそろっており、いかなる施工にも職人による確かな品質を提供している。ショッピングセンターからオフィスビルまで、大小含めて年間300件以上の豊富な実績を有しており、日々技術力を磨き続けている。

また、上記に加え国家資格である一級内装仕上げ施工技能も多数在籍していることで、その他施工に関する資格の取得を推進しており、作業員の社内教育にも注力している。

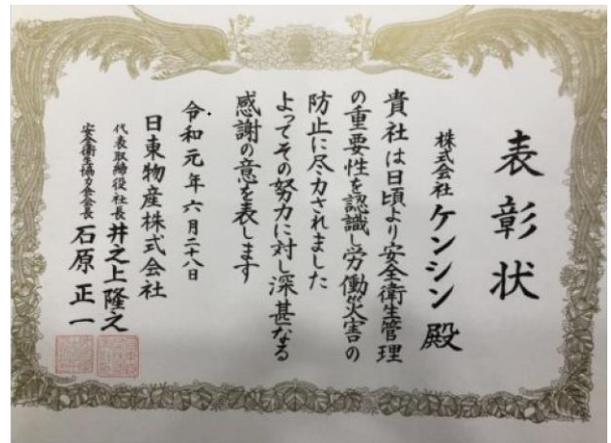
(2) 迅速な対応



長年の経験と実績、および協力企業のネットワークを駆使することで、迅速かつ臨機応変な対応を可能にしている。

たとえ当初立てていた施工プラン通りに進んでいない事案だとしても、これまでの経験を活して施工順序を入れ替えて早くできることを前倒しで行なう等、工事を円滑に進めるための道筋をスムーズに立てることで納期遅れを防止し、当社の各地域に点在する協会社のあるエリア内であればどこでもスピーディーに対応することが可能である。

(3) 安心安全の徹底



当社は従業員のケガ防止の観点に加え、顧客目線においても安全対策は重要であると考えている。

施工後も長い時間を過ごすこととなる顧客に対し、不注意による事故を起こした現場を引き渡すことは気持ちを害する行為であり、サービス品質の低下に繋がるからである。「安全に対しての手抜きは、技術の手抜きと一緒に」と考え、いついかなるときも安全第一の施工を心掛けている。

3. その他の活動

① 人材育成



【講習風景】



【表彰式風景】

内装工事業務未経験者に対しては入社後一週間ほどは施設にて現場の勉強を行い、その後二ヶ月ほど社内にて機材等の座学研修を受けるカリキュラムが組まれている。三ヶ月ほどで現場に出た後も、OJTによる育成に加え、全国建設室内工事業協会が開催する外部講習の受講を促し、無理なく技術が習得していけるような体制が整っている。

また、資格取得費用に対する補助制度も設けており、資格取得にかかる費用は全額当社負担とすることで資格取得を促しており、現状登録内装仕上工事基幹技能者3名、一般内装仕上げ施工技能士5名が在籍し一定の成果を得ている。

他にもコロナ前までは年に一度、協力企業も含めた表彰式を開催しており、年間において特に功績の大きい作業員や永年勤労者を表彰することで組織活性化と士気向上に繋げている。

② LPG フォークリフト



当社では、ガソリン車に比べて排気ガス中のCO（一酸化炭素）、HC（炭化水素）、NOX（窒素酸化物）が1/3～1/6程度と言われるLPGフォークリフトを採用しており、環境負荷低減に寄与している。また、オイル交換も少なく、エンジン寿命も長いという特性もあり、製品ライフサイクルを長期化させることでも貢献している。

③ 健康宣言



社員とそこご家族の健康の保持増進のために安全な労働環境をつくり、生産性の向上・会社の成長へ繋げるべく健康宣言を行っている。健康宣言とは、全国健康保険協会（協会けんぽ）において健康経営®の考え方にに基づき、社員の健康づくりへの取り組みを会社の内外へ発信（宣言）できる制度である。

今後は健康経営認証も取得予定であり、人にやさしい企業であり続けられるよう努めていく方針である。

④ SDGs 宣言

株式会社 ケンシン SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2021年3月1日

株式会社 ケンシン 代表取締役 佐藤大介

SDGsの達成に向けた取組み

若手・女性の積極登用と人材育成

若年者、未経験者、女性を積極的に登用し、多様な人材が活躍できる活気溢れる職場環境を整備してまいります。
《具体的な取組み：外部研修・協力会社との合同勉強会等による通信関連スキルの向上》

施工品質の維持向上

安全・快適な通信空間を創出するため、法令の遵守、施工マニュアルに沿った現場施工を実践し、作業品質の維持向上に努めてまいります。
《具体的な取組み：現場施工教育の実施・資格取得の促進》

現場管理の徹底による廃棄物・CO2削減

作業現場の廃棄物を削減し、作業工程の管理による効率的な人員配置、現場車両の圧縮を図り、エコ運転を実施してCO2排出量の削減等の対策を講じてまいります。
《具体的な取組み：ごみ削減運動・工程や車両の管理とエコ運転の実施》

地域社会への貢献

地域の方々との交流を深め、安心・安全で住みよい街づくりに貢献できるよう、ボランティア活動や地域交流会、寄付等を実施してまいります。
《具体的な取組み：地域ボランティアや地域交流会・寄付等の実施》








当社は事業活動を行っていく中で、若手・女性の積極的な登用・人材育成による組織活性化、品質の向上による快適な空間の創造、廃棄物・CO2削減による環境配慮、地元企業として地域社会への貢献を宣言している。今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDGs宣言と共通した分野でのKPIを設定する。

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社ケンシンの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社ケンシンの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社ケンシンの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社ケンシンが直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社ケンシンの事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

②インパクト分布図

・川上の企業

インパクトカテゴリ	川上の事業							
	【 1622 】		【 4330 】		【 4390 】		【 4663 】	
	建築用木材及び建具製造業		建築物仕上げ・完成業		その他の専門工事業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）								
食料								
住居	★		★★		★★		★	
健康・衛生							★	
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー							★	
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		★						★
大気		★						★
土壌								
生物多様性と生態系サービス								★
資源効率・安全性		★						
気候		★						★
廃棄物		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★							
経済収束								

川上企業としては建築資材のメーカー・卸売業者と、内装工事の協力・外注業者が該当し、ポジティブインパクトとしては、『住居』『健康・衛生』『雇用』『エネルギー』『包括的で健全な経済』が確認された。一方で、ネガティブインパクトとして『雇用』『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』について確認された。建築資材の製造・輸送過程にて発生する汚染物質及び、工事作業にて発生する廃棄物が要因と考えられる。

当社としては、今後とも内装工事業の拡大を行っていくことで、「住居」を中心とした協力企業のインパクト拡大を図るとともに、適切な環境対応を実施している企業との取引の優先的な拡大と、資材の二次利用の効率化を進め、ネガティブインパクト縮小を図っていく方針である。

・ 同社事業、川下の事業

インパクトカテゴリ	同社事業				川下の事業	
	【 4330 】		【 4390 】		【 4100 】	
	建築物仕上げ・完成業		その他の専門工事業		建築工事業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）						
食料						
住居	★★		★★		★★	
健康・衛生					★	★
教育						
雇用	★	★	★	★	★	★
エネルギー					★	★
移動手段						
情報						
文化・伝統						★
人格と人の安全保障						★
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）						★
大気						★
土壌						★
生物多様性と生態系サービス						★
資源効率・安全性						★
気候						★★
廃棄物		★		★		★★
包括的で健全な経済					★	
経済収束					★	

● 同社事業

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りであり、『住居』『雇用』についてポジティブインパクトが確認された。

快適な空間を実現するために不可欠な内装工事分野において、特にポジティブインパクトを拡大さ

せてきた要因は、協力企業を含めると 300 人以上となる職人とのコネクション・ネットワークを構築している点である。

強固なネットワークは、柔軟でスピード感のある人員配置を可能にし、同業他社では模倣困難な①顧客からの依頼に対する初動の早さ、②トラブル発生時の迅速なリカバリーによる損失拡大の防止、③他社では不可能な短納期依頼への対応、④今まで納期を超過した事例が 1 度もないという実績、等の優位性を創出し、業界内での地位を確立している。

また、協力企業の増加により懸念される「品質の維持」については、協力関係を結ぶ段階で実際の現場を審査することで、技術水準が高位な企業のみが選定されていることに加え、最新施工に関する評価も常に行うことで解決を図っている。

一方で、当社の事業におけるネガティブインパクトについては、『雇用』『廃棄物』の分野で確認された。工事作業にて発生する廃棄物が主な要因であるが、現状の廃棄物の適正処理や環境関連の法令順守等に加え、今後は原材料の二次利用を効率的に行う体制の構築、及び品質向上による修繕回数の低減によりネガティブインパクトの縮小を図っていく。

●川下の事業

川下の事業におけるインパクトは上記の通りであり『住居』『健康・衛生』『雇用』『エネルギー』『包括的で健全な経済』『経済収束』におけるポジティブが確認された。一方、ネガティブインパクトについては『健康・衛生』『雇用』『エネルギー』『文化・伝統』『人格と人の安全保障』『水（質）』『大気』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』といった社会面・環境面が確認された。

当社としては強みを活かし、同業他社では困難な受注を請け負っていくことで今後とも『住居』を中心としたポジティブインパクトに貢献をしていく方針である。

5. 測定するKPI

① より良い空間の提供（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「住居」
関連するSDGs	
対応方針	事業の更なる拡大
KPI	・施工件数を積み上げ、売上高2,500百万円を達成する（実績開示）

② 従業員のQOL向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	
対応方針	人材の採用・育成、良好な労働環境維持
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者を年間2名以上採用する（実績報告） ・幅広い知識の習得を促進するため、現状の資格取得支援の対象資格を拡大する（内容報告） ・残業時間を10時間/月 以内を維持する（実績報告）

③ 環境負荷の低減（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「大気」「廃棄物」
関連するSDGs	 
対応方針	環境負荷の低減、社用車の脱炭素化
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部署を設置し資材管理の厳格化と情報共有を進め、資材の二次利用を促進する（内容報告） ・社用車の半分をハイブリッド車に切り替える（実績報告）

6. インパクトの管理体制

株式会社ケンシンは佐藤社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、と法人本部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 佐藤 大介
-------	-------------

7. モニタリング方法

株式会社ケンシンに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

株式会社ケンシンの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社ケンシンが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。